※令和４年度以降入学生用

学校番号	405

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学演習 (看護)	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	REPEAT「数学Ⅰ＋A」　(数研出版) 新課程「リンク　数学演習Ⅰ・A」　(数研出版)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は演習のため最初は教員側で解くことになりますが、その後の演習問題に対しては、まず自分でしっかりと考える姿勢を築いてほしいと思います。そのためには、担当の先生の説明をしっかり聞き、わからないところがあれば、必ず質問をして理解するという習慣をつけてください。
・授業のノートはただ黒板の内容を書き写すだけでなく、授業のポイントや自身で気づいたことなどを工夫してノートに書き留めておきましょう。
・副教材のリンクの問題はまず自分で解くこと。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方を必ず書くようにしてください。答え合わせをし、自分がどこでつまづいたかを確認しましょう。
・問題集は１度解き終わってから終わりにしないで、繰り返し解いて練習することが大切です。
・問題集の宿題や特別に出されたプリントなどの提出物は必ず出しましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方や考え方を伸ばし、ものごとをじっくりと数学的に考えることができる能力を育成する。

(a)数と式、図形と計量、二次関数、データの分析、場合の数と確率、図形の性質及び整数の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識出来るようにする。

(b)問題で問われている条件や結論に着目し、数や式、図形を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする基礎力、問題で問われていることについて論理的に考える力、様々な情報を適切な手法を用いて読み取り分析を行う力などを養う。

(c)数学のよさを認識し、結論を導くまで時間がかかっても粘り強く考える態度、問題解決のための過程を振り返って自らを評価したり改善したりする力を養う。また、自主的に数学そのものに取り組む姿勢を養い、今後の人生に活かそうとする意識を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	数と式、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形の性質及び整数の性質における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	数と式、２次関数、図形と計量およびデータの分析、場合の数と確率、図形の性質及び整数の性質において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	数と式、２次関数、図形と計量およびデータの分析、場合の数と確率、図形の性質及び整数の性質における考え方に関心を持つとともに、つまづいても解決するまで粘り強く考え、数学的な思考に基づき判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深め、自己評価や改善をしようとすることができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	第1章数と式 数学Ⅰ	第1節　式の計算 １　整式の加法と減法 ２　整式の乗法 ３　因数分解(1) ４　因数分解(2) 第２節　実数 ５　実数 ６　根号を含む式の計算(1) ７　根号を含む式の計算(2) 第３節　１次不等式 ８　１次不等式(1) ９　１次不等式(2)	a:様々な計算を通じて数学的なものの考え方を身につけることができる。また、実数などの数値が表す概念を理解し、扱うことができるようになる。 b:学習したことを様々な場面での問題の処理に応用できるようになる。さらに、問題の表している意味を理解できるように深く考えを及ばすことができる。 c:与えられた課題に積極的に取り組み、その完成度をより高める意識を養う。	定期考査 確認テスト	定期考査 宿題プリント 提出されたワーク	宿題プリント 提出されたワーク 観察等

※令和４年度以降入学生用

	第2章　集合と命題　数学Ⅰ	10　集合 11　命題と条件 12　命題と証明	a:様々な命題に取り組むことで、その命題が問うていることの本質を理解し、その主張が正しいか否かを判断することができる。 b:様々な命題に課せられている条件が変化した場合、結果も変わってくることを理解し、その境目がどこであるのかを考えることができる。 c:　与えられた課題に積極的に取り組み、その理解度をより高める意識を養う。	定期考査 確認テスト	定期考査 宿題プリント 提出されたワーク	宿題プリント 提出されたワーク 観察等
	第1章　場合の数と確率　数学A	第1節　場合の数 1　集合の要素の個数(1) 2　集合の要素の個数(2) 3　場合の数 4　順列(1) 5　順列(2) 6　組合せ(1) 7　組合せ(2) 第2節　確率 8　事象と確率 9　確率の基本性質 10　独立な試行と確率 11　反復試行の確率 12　条件付き確率	a:様々な場合の数や確率の問題に取り組むことで、問題の意図しているところを見抜き、適切な解法を選択して解くことができる。 b:問題における解法がどのような理由で選ばれているのかを理解し、それを今後の問題で扱うことができるようにする。 c:　与えられた課題に積極的に取り組み、場合によっては入試問題のような応用を含んだ問題であっても、解くことができるようになる。	定期考査 確認テスト	定期考査 宿題プリント 提出されたワーク	宿題プリント 提出されたワーク 観察等
2学期	第3章　2次関数　数学Ⅰ	第１節　２次関数 13　関数とグラフ 14　２次関数とグラフ 15　２次関数の最大･最小(1) 16　２次関数の最大･最小(2) 17　２次関数の決定 第２節　２次方程式と2次不等式 18　２次方程式 19　２次関数のグラフとx軸との位置関係 20　２次不等式(1) 21　２次不等式(2) 22　いろいろな関数の問題	a:２次関数のグラフ、２次方程式、２次不等式の様々な問題に取り組むことで、適切な計算方法を選択し、その上で解くことができるようになる。また、２次曲線の特徴を理解し、その性質を利用して問題の解答を導き出すことができるようになる。 b:２次関数のグラフ、２次方程式、２次不等式の問題において、問題の意図を理解した上で、適切な処理方法を判断して利用することができるようになる。 c:　与えられた課題に積極的に取り組み、場合によっては入試問題のような応用を含んだ問題であっても、解くことができるようになる。	定期考査 確認テスト	定期考査 宿題プリント 提出されたワーク	宿題プリント 提出されたワーク 観察等

※令和４年度以降入学生用

	第4章　図形と計量　数学Ⅰ	第1節　三角比 23　三角比 24　三角比の相互関係 25　三角比の拡張 第2節　三角比の応用 26　正弦定理と余弦定理(1) 27　正弦定理と余弦定理(2) 28　三角形の面積(1) 29　三角形の面積(2) 30　空間図形への応用	a：三角比の様々な問題に取り組むことで、適切な計算方法を選択し、その上で解くことができるようになる。また、三角比の特徴を理解し、その性質を利用して問題の解答を導き出すことができるようになる。 b：三角比やその応用の問題において、問題の意図を理解した上で、適切な処理方法を判断して利用することができるようになる。 c：与えられた課題に積極的に取り組み、場合によっては入試問題のような応用を含んだ問題であっても、解くことができるようになる。	定期考査 確認テスト	定期考査 宿題プリント 提出されたワーク	宿題プリント 提出されたワーク 観察等
	第2章　図形の性質　数学Ａ	第１節　平面図形 13　三角形の辺の比 14　三角形の外心・内心・重心 15　チェバの定理・メネラウスの定理 16　三角形の辺と角 17　円に内接する四角形 18　円と直線(1) 19　円と直線(2) 20　2つの円 21　作図 第２節　空間図形 22　直線と平面 23　空間図形と多面体	a：図形の様々な問題に取り組むことで、適切な計算方法を選択し、その上で解くことができるようになる。また、図形の性質の特徴を理解し、その性質を利用して問題の解答を導き出すことができるようになる。 b：図形の問題において、問題の意図を理解した上で、適切な処理方法や使うべき性質を判断して利用し、解くことができるようになる。 c：与えられた課題に積極的に取り組み、場合によっては入試問題のような応用を含んだ問題であっても、解くことができるようになる。	定期考査 確認テスト	定期考査 宿題プリント 提出されたワーク	宿題プリント 提出されたワーク 観察等

※令和４年度以降入学生用

３学期	第５章　データの分析　数学Ⅰ	31　データの整理、データの代表値 32　データの散らばりと四分位数 33　分散と標準偏差 34　データの相関	a: データに関する問題に取り組むことで、問題の意図しているところを見抜き、適切な解法を選択して解くことができる。 b: データに関する問題において、問題の意図を理解した上で、適切な処理方法や使うべき性質を判断して利用し、解くことができるようになる。 c: 与えられた課題に積極的に取り組み、その理解度をより高める意識を養う。	定期考査 確認テスト	定期考査 宿題プリント 提出されたワーク	宿題プリント 提出されたワーク 観察等
	第３章　整数の性質　数学Ａ	24　約数と倍数 25　最大公約数･最小公倍数(1) 26　最大公約数･最小公倍数(2) 27　整数の割り算と商･余り 28　整数のいろいろな問題(1) 29　ユークリッドの互除法 30　整数のいろいろな問題(2) 31　分数と小数 32　n 進法	a:様々な整数や実数の問題に取り組むことで、問題の意図しているところを見抜き、適切な解法や性質を選択して解くことができる。 b: 整数や実数に関する問題において、問題の意図を理解した上で、適切な処理方法や使うべき性質を判断して利用し、解くことができるようになる。 c: 与えられた課題に積極的に取り組み、その理解度をより高める意識を養う。	定期考査 確認テスト	定期考査 宿題プリント 提出されたワーク	宿題プリント 提出されたワーク 観察等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度